

消防団女性部紹介

佐賀県内の消防団には、令和元年10月1日現在、466名の女性消防団員が在籍し、地元の住民が安全で安心して暮らしていける地域づくりに活躍しています。
このコーナーでは、女性部の日頃の活動の一端を紹介しています。

佐賀市消防団 唐津市消防団 鳥栖市消防団 多久市消防団
伊万里市消防団 武雄市消防団 鹿島市消防団 小城市消防団
嬉野市消防団 神埼市消防団 吉野ヶ里町消防団 基山町消防団
上峰町消防団 みやき町消防団 有田町消防団 大町町消防団
白石町消防団

消防団女性部紹介

佐賀市消防団南部方面隊諸富支団 支団本部分団女性部

部長コメント



消防団に入団して5年目になります。春と秋の火災予防週間の高齢者宅訪問や出初式など、活動の中で多くの方と出会い、消防団員だからできる様々な経験をさせていただいています。

団員の年齢や職業は様々ですが、女性同士、様々な話題で会話が弾みます。少人数ではありますが、これからも地域の安全のため、女性らしい気配りで活動していきたいです。

部長 野口 晶子

活動状況の概要

佐賀市消防団南部方面隊諸富支団女性部では、毎年8月に開催される夏季訓練における訓練全体のサポートを行っている他、1月に開催される出初式にも参加しています。また、春季、秋季火災予防運動期間には、男子消防団員や消防署員の方々と町内の65歳以上の高齢者宅を訪問し、防火診断を行ったり、防火の集いでは、啓発のための風船を配布したりしています。



消防団女性部紹介

みやき町消防団女性部

みやき町消防団女性部のコメント

みやき町消防団女性部は総員16名（令和元年度）で活動しています。仕事や家庭がある中、自分のできる範囲で参加してもらっています。活動は、救急講習や広報活動など自分自身のためにもなります。一緒に活動をしてくれる女性団員を募集しています。

みやき町消防団女性部の活動概要

みやき町消防団女性部は、火災現場で消火活動に携わることはありませんが、消防署で開催される応急手当普及員講習などを積極的に受講し、心肺蘇生法や基礎的な応急手当の知識と技能を学び、住民の方に対しても、心肺蘇生法の説明や指導、普及を行っています。女性消防団員になって得る知識は、お年寄りや子どもなど身近な人を守ることにつながる大切なことばかりです。

また、佐賀県、全国で開催される女性消防団員活性化大会に参加し、自分たちの活動を紹介するなど他の女性消防団員と情報交換を行っています。

全国的に災害が多く発生しているなか、地域に貢献できるように様々な取り組みを行っていきたいと考えています。



防火パレードでAEDの使用方法の説明



出初式での通常点検の様子

消防団女性部紹介

有田町消防団女性部



私たち女性消防団員は、地域住民に対する予防活動、啓発活動において、大きな役割を担っていると考えます。女性ならではの、細やかな目配り、気配り、心配りで、日頃から防火指導を兼ねた高齢者宅への防火訪問や、広報・啓発活動、地域に密着した幅広い活動など「顔の見える活動」をすることにより、災害時の対応をスムーズに行えるように心がけています。

活動状況の概要

夏季訓練や出初式では受付やアナウンスを担当しています。また、毎年開催されている女性活性化セミナーにも参加し、消防団を中心とした地域防災力の充実強化、災害が多い日本でどう生きていくのか、これから女性消防団員の在り方や地域にあった活動などを学び日々の活動に努めています。

秋の全国火災予防運動期間中には町内で防火広報など、日頃から防火啓発活動に努めています。



消防団女性部紹介

小城市消防団女性部

部長コメント



藤木 理子部長

小城市消防団女性部は現在 15 名で活動しています。主な活動内容は、火災予防、広報活動などで、無理のないよう楽しく活動しています。

自然災害が多発している中、もっともつと地域や各機関との親密度を高め、連携していくことが重要になってきています。

女性部も救命講習会や訓練などに積極的に参加し、市民のみなさんが安心安全に暮らしていけるお手伝いができるよう務めています。

活動状況の概要【年間行事】

- 出初式(一斉放水)
- 夏季訓練 ○小隊訓練 ○普通救命講習会 ○秋季・春季火災予防パレード
- 消防学校入校 ○自主防災組織防災訓練での炊き出し訓練
- 市内保育園・幼稚園での防火啓発活動(パネルシアター)
- 牛津産業まつり防火啓発活動(小城消防署と一緒に)
- 一人暮らしの高齢者防火訪問(小城消防署と一緒に)
- 広報誌「あおうみ」作成(小城市消防団広報委員会の委員として年度2回発行)
- 各訓練・式典での進行アナウンス担当

【保育園での防火啓発活動 (パネルシアター)の様子】



【普通救命講習会の様子】



消防団女性部紹介

嬉野市消防団女性部



部長 岡 典子

部長コメント

私たち嬉野市消防団女性部は、数年前に2部体制から1部体制に変わり総勢40名で活動しています。近年は嬉野市役所職員の入団により部員数が保たれていますが、一般の方の入団勧奨も積極的に行っていきたいと思います。まだ女性消防団に対する認識が希薄で敬遠されがちですが地域のため、家族のため、ひいては自分のためだということを活動を通して理解を深めていただけたらと思います。

嬉野市消防団女性部は、数年前に2部体制から1部体制に変わり総勢40名で活動しています。20代から60代と幅広い年代でそれぞれの視点から活動を支えてきました。近年は、訓練や式典だけでなく、子供向けの防災行事に参加しスクリーン版紙芝居を行ったり、福祉施設を訪問し火の取り扱いについて寸劇をしたり活動の幅を広げています。さらにそのような行事や訪問の際は女性部手作りの小物を配布し、より記憶に残る工夫をしています。小物を作るときは、あえて活動服ではなく私服で、おやつを食べながら話をしながら行っています。おかげで普段の活動だけでは縮められない団員同士の距離も大きく変わりました。さらには、これまで部員の15%ほどしか持っていた応急手当普及員の資格を新たに14名が取得し約半分の部員が普及員としての活動を行うようになりました。主に、地区の防災訓練などで消防署員と連携し活動しています。これまで目立った活動ができていなかった私たちですが、これらの活動ができ充実した日々を送っています。女性部にできる消防団活動は主に火災やその他の災害を未然に防ぐための広報活動だと考えています。これからもこのような活動を継続し、女性部の存在を知っていただき地域に貢献できればと思います。

幼年消防クラブ防火映写会	福祉施設訪問	小物作り
応急手当普及員資格取得	地区防災訓練(AED使用法)	HUG訓練

消防団女性部紹介

佐賀市消防団中部方面隊 本部女性部

部長コメント



私たちとは、平成12年4月に14名で結成し、現在26名で活動していますが、近年若手の入団でますます活気がでています。仕事をしている者も保育士・薬剤師・介護士等様々で、仕事をしながら自分のできる範囲で参加してもらっています。毎月9日の定例会は、この10年間一度も欠かしたことなくみんな楽しんで集まっています。これからも、無理なく楽しみながら地域防災に取り組んでいきたいと思います。

部長 山本 佐亀子

活動状況の概要【年間行事】

- ・出初式 放水競技大会・防火フェスティバル
- ・一人暮らし高齢者世帯防火査察
- ・もちつき大会(幼少年防火クラブ対象)
- ・夏季訓練
- ・救急医療週間
- ・佐賀市地域防災訓練参加
(一般市民対象) 応急手当普及講習指導
- ・幼稚園・保育園の避難訓練
(防火パネルシアター)
- ・年末警戒 (激励巡視)

【主な活動】

- ・佐賀インターナショナルバルーンフェスタボランティア参加
- ・大型商業施設における広報活動
防火・防災普及啓発寸劇とパネルシアター・紙芝居・マジック・パントマイムによる心肺蘇生法・バルーンアート
- ・火災現場の後方支援
- ・住宅用火災報知器設置キャンペーン (寸劇)



幼稚園での防火パネルシアター

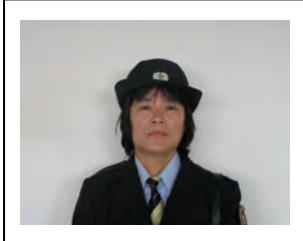


佐賀インターナショナルバルーンフェスタ
(ボランティア参加)

消 防 団 女 性 部 紹 介

佐賀市消防団南部方面隊東与賀支団 支団本部分団女性部

部長コメント



女性部については平成13年度、平成14年度の2カ年間東与賀町消防委員会で協議され、平成15年4月に、防火啓発等を目的として10名で発足し、平成16年度の17名をピークに、平成22年度には8名と減少しています。一緒に活動してくれる女性団員を募集しています。

部長 富吉 玉恵

活動状況の概要

年間の主な活動状況は、夏季訓練では、分列行進、通常点検を実施しています。秋の火災予防運動では、防火教室に参加し、火災予防の啓発を行っています。出初式では分列行進、春の火災予防運動では自分たちで作った啓発物資を持って、一人暮らし老人宅の防火査察を実施しています。

特に印象に残る活動としては、平成18年11月に東与賀町総合防災訓練の避難訓練、地震体験訓練、消火器取扱訓練、煙体験訓練、救命救急講習訓練、災害救助訓練に参加しました。特に女性部として炊き出し訓練、非常食配給を婦人会と合同で日赤佐賀県支部の指導により実施しました。



一人暮らし老人宅の防火予防査察



総合防災訓練での炊き出し訓練

消防団女性部紹介

佐賀市消防団南部方面隊久保田支団 支団本部分団女性部

部長コメント



佐賀市消防団久保田支団女性部は、平成12年4月1日、久保田町消防団女性部として13名で発足し、その後市町村合併や消防団の統一を経て、今年で10年となりました。

普段は、主婦・団体職員・公務員として働きながら、災害予防啓発を中心に防火訓練や応急救護訓練等の活動を行っています。一人でも多くの方の安心・安全のため、皆様の協力を得ながら活動できることへの感謝を忘れず、今後とも活動していきたいと思います。

部長 古賀 悅子

活動状況の概要

私達、佐賀市消防団久保田支団女性部は、平成22年4月1日現在、部長はじめ10名の団員で活動しています。主な活動として、男性消防団員とともに出初式や夏季訓練に参加するのはもちろんのこと、春と秋の火災予防週間においては、町内での広報活動や一人暮らしの高齢者のお宅へ防火診断を行っています。

女性消防団員としての自覚を深めるため、2年前に『普通救命救急講習』を受講し、心配蘇生法やAEDの使用法など基礎的な知識を身につけました。

また、佐賀県内で開催される女性活性化セミナーや全国で開催される女性消防団員活性化大会に参加することで、他の女性消防団員と地域を超えた情報交換を行い、日々消防団員としての技術や知識の向上に努めています。



第16回全国女性消防団員活性化奈良大会



第16回全国女性消防団員活性化奈良大会

消防団女性部紹介

佐賀市消防団北部方面隊大和支団 支団本部分団女性部

部長コメント

私たちは、現在14名で年齢は20代から50代と幅広い年齢層です。仕事をしている者、仕事と家庭の両方をかけもちしている者、子育て中の者など様々ですが、まずは自分の参加できるところから始め、お互いに助け合いながら頑張っています。

かたくるしくなく、みんなで笑いながら活動できる楽しい雰囲気が私たちのモットーです。

部長 野田 邦子

活動状況の概要

私たちは、入退団式、夏季訓練、出初式など男性消防団員とともに参加する消防行事のほか、女性消防団員の役割として、防火指導訪問や各種イベントでの防火呼び掛け、啓発劇及び消防団員を対象とした応急手当講習など、防火啓発と救命措置の普及に努めています。その活動の中でも、毎年3月実施の町内6幼・保育園児ほか千名以上が参加する「大和町防火のつどい」では、北部消防署員とともに防火啓発劇を披露し、会場内は子どもたちの笑い声でいっぱいになります。

【主な活動】

- ・大和町防火のつどい、防火パレード
- ・救急フェスティバル
- ・一人暮らし高齢者世帯防火指導訪問
- ・消防団員を対象とした応急手当講習



救急フェスティバル
(イオンショッピングセンター大和)



防火のつどい
(佐賀市立春日小学校)

消防団女性部紹介

唐津市消防団相知支団

部長コメント 隊長（部長）不在

活動状況の概要（200字程度）

唐津市相知消防団女性消防隊は平成21年4月2日付けをもって発足しました。女性消防隊と言っても経験、実績とも不足しており、現在は本部に配置され、団員として訓練などに励んでいるところです。

活動状況につきましては、春と冬の年2回、男性団員とともに各個訓練、AED訓練を行い、部隊行動の規律を基礎から身につけています。

行事においては、唐津市消防出初式の観閲・分列行進に参加したり、相知消防団主催の秋季大会（操法競技）及び瓦落し競技大会では、集計・記録など事務局のお手伝いをしています。

また、秋の火災予防運動では女性ならではのソフト面を活かし、災害時要援護者などの高齢者世帯を訪問し、防火・防災思想の普及啓発活動を行いました。

なお、水害などの災害時においても団活動の後方支援として任務に当たっています。



防火訪問の様子



瓦落し競技大会 開会前に

消防団女性部紹介

唐津市消防団肥前支団



部長コメント

唐津市肥前消防団本部の女子部として再スタートするにあたり、消防団担当職員としての経験こそありますが、団員としては全く経験のない新入団員の私が、いきなり部長をして大丈夫なのか?とちょっと不安な所です。しかし、今までの活動を完全にリセットして、新生肥前女子消防団として活動するには、新しい考え方も必要なかなと半分開き直って頑張っています。

部長 村田安世

活動状況の概要（200字程度）

唐津市肥前消防団の女子部は、21年度までは第1分団の高串女子部として活動していましたので、それまでの活動内容は、男性団員と全く同様でした。

しかし、年々団員確保が厳しくなり、22年4月から、本部付けに変更し、肥前町地区全体から入団できるようにし、これまで高串女子部に在籍していた者1名と私を含む新入団員3名、合計4名で再結成し、再スタートを切ったばかりの所です。ですので、夏季訓練の受付業務等以外の、新肥前消防団の女性消防団としての独自の活動は、まだ検討している途中ですが、主に広報活動に力を入れて頑張って行こうと思っています。



消防団女性部紹介

唐津市消防団鎮西支団

代表者コメント

第2分団第9部は、馬渡島地区にある部です。馬渡島地区は漁業を主たる生業としている方が多く、日常的に男性が少なくなるため、漁に出たあとの集落を守るために、男性団員と共に防災活動を行っています。

平成22年12月現在、11人の団員が入団しております。

活動状況の概要

主な活動としては、火災においての防災活動や消防訓練の参加はもちろんのこと、災害時での炊き出しや応急手当なども行っています。

また、唐津市鎮西消防団では、毎年夏季訓練として人命救助講習会（人工呼吸法・溺者救助法・AED取扱等）が開催され団員として参加しておりますが、その講習会とは別に、昨年8月に女性団員が中心となり、唐津市消防本部に依頼し、馬渡島において普通救命講習会を開催しました。

参加呼びかけは団員だけでなく、教育的指導立場である小・中学校の先生方や保育園の保育士さんへも行い、応急手当の重要性や知識普及の指導にもあたり、女性ならではの視点に立った活動を行いました。



消防団女性部紹介

多久市消防団女性部



諏訪部長

私が部長を努めて8年になります。最初は15名でスタートした女性消防でしたが、現在は11名で活動しています。部員の確保の難しさに直面しています。しかし、明るさと、前向きな姿勢で頑張っています。

多久市消防団女性部は、結成から14年を迎えます。現団員は11名で活動をしています。主な活動としては、男性団員と同じように各種年間行事への参加、年2~3回の訓練や春・秋季火災予防の広報活動、火災現場への出動、行方不明者捜索、高齢者宅の防火指導訪問、年に一度発行する、広報誌「まとい」の取材から発行まで、幅広く活動しています。

火災現場では、女性ならではの優しい心遣いで、被災された方達の精神的な支えになりたいと努めています。そうすることで、市民の皆さんとの繋がりができる、女性消防団の存在を理解して頂いているのかと思います。

個性ある団員の長所を生かしつつ、頑張って行きたいと思っています。



高齢者宅防火指導訪問 (H22年11月22日~26日)
手作りのお土産を持って訪問しました



多久市防災訓練 (H22年6月6日)
炊き出し訓練

消防団女性部紹介

伊万里市消防団女性部



女性部 宮崎部長

部長コメント

伊万里市女性消防団員は総員22名（平成26年度）で活動しています。20代から50代まで幅広い年代で気にせず語り合える仲間は、もう一つの家族と言うべき、かけがえのない存在です。

出来ることを地道に繰り返し、社会貢献出来ることで、消防団活動に自信を見出し頑張っています。

私たち伊万里市女性消防団員は、女性のソフトさを消防団活動に導入することを目的に平成3年に結成されました。

私たちの活動は、団員全員が応急手当指導員の資格を取得し応急手当指導・一人暮らし高齢者宅防火訪問・防火教室・各種消防団行事のサポートをはじめ、市内全世帯回覧の広報紙作成・秋祭りパレード参加・地元のケーブルTVに出演する等、火災予防広報や消防団PRにも積極的に取り組んでいます。

また、平成25年11月に開催された第19回全国女性消防団員活性化ぎふ大会では、「女性消防団、今までそして明日から」と題してこれまで行ってきた活動の成果を発表させていただき、その中で披露した「心肺蘇生体操」は、全国各地から反響があり、喜びとともに女性消防団員としてのつながりを強く感じています。

これからも「私たちに今できること！」をモットーに、女性ならではの消防活動を目指していきます。

毎年、伊万里秋祭りパレードに参加



地元のケーブルテレビで「心肺蘇生体操」を披露



消防団女性部紹介

鹿島市消防団女性部

鹿島市消防団 女性部長 山口瑞枝



私たち鹿島市消防団女性部は、現在結成11年目を迎え、20代から60代までの14名の団員で活動しております。
「無理をしない。嫌々ながらしない。家庭に迷惑をかけない」がモットー。
年齢層が幅広いため、2ヶ月に1回開く会合では、年配の団員が子育ての悩みなど、若い団員の相談に乗ることもあります。
また、消防団活動以外に、食事会や旅行など親睦を深める場も設けています。
女性部の役割は、広報と後方支援。防災意識を高めてもらうことに力を入れ、無理をせず、時間が許せる範囲でがんばっていきたいです。

○ 活動状況

鹿島市消防団は、1本部6分団776名で構成され、そのうち女性団員は14名が在籍し活動しています。

女性部団員は、春と夏の訓練や火災予防週間の広報、出初式のほか、福祉施設の防火訓練に参加し、避難誘導などを指導しています。

また、けがをした際の応急手当の普及、家庭用消火器の取り扱い指導など、女性の視点に立った活動にも力を入れています。



夏季訓練にて



第21回 全国女性消防団員活性化佐賀大会にて

消防団女性部紹介

神埼市消防団女性隊



部長コメント 古川初子

あわただしい中にも「ホット」するひと時があるアットホームな
神埼市消防団女性隊です。

これからも、少しづつ無理せず出来ることから活動していきます。

活動状況の概要

神埼市消防団女性隊は、広報活動を主として活動しています。男性団員と共に出初式、入退団式、夏季訓練、年末警戒、春秋の火災予防パレードに参加しています。また、女性隊独自では75歳以上の独り暮らしのお宅へ訪問し、防火・防災に関する広報活動を行っており、皆様方に大変喜んでいただいています。

このほかにも心肺蘇生法、危険物取扱等にも取組み今後の活動に活かしていくものと考えています。

市民の皆様にも防火・防災に関心と興味を持っていただき、消防団に参加していただけたらと思い、これからも地道に活動を続けて参ります。



消防団女性部紹介

神埼市消防団南部女性隊

活動状況の概要

- 各種イベント等での火の用心の広報活動
- 独居老人の慰問・手作りマスコット等の作成、配布
- 火災現場、避難所等での炊き出し等後方支援
- 月1回の会合



消防団女性部紹介

吉野ヶ里町消防団女性部

部長コメント



吉野ヶ里町消防団では、消防団活動の活性化を目指し、女性消防団員を募集しています。
火災予防や、応急手当の普及など安全安心な町民生活のため、私たちと一緒に頑張りましょう。

活動状況の概要

毎月1日の町内広報パトロールをはじめ、女性ならではのソフト面での活動を主業務としています。春と秋の火災予防週間時には、独居老人宅の訪問活動を行い、防火啓蒙活動を行っています。

また、定期的に女性部会を開催し、意見交換等も行っております。
団員には、主婦や会社勤務など様々な分野の方が活動されています。



消防団女性部紹介

上峰町消防団女性部



部長コメント

入団7年目の大変未熟者ですが、団長・副団長のご指導のもと、女性部団員の皆様に支えていただきながら、消防活動に励んでおります。

女性部部長 江崎 智恵

上峰町消防団女性部は、現在9名で活動しております。

活動内容は、主に出初式及び教養訓練等に参加し、春・秋の火災予防運動期間においては、町内各地区への広報活動を行っております。

また、火災等有事の際には救護班として活動すべく救急救命講習会等に参加しております。今年の防火訓練の際は、初期消火訓練時に消火器の取扱い方法を住民の方々へ説明し、救護班としてAEDを使用した心肺蘇生等の救護活動訓練を行いました。

